

IT技術で拓く
長野県産業の新時代



信州ITバレー構想

Nagano IT Valley

Society5.0時代を共創するIT人材・IT産業の集積地「信州」をめざす



信州ITバレー推進協議会(NIT)
事務局 公益財団法人長野県テクノ財団 信州ITバレー推進室内



Our Goal

信州ITバレー構想が目指すもの



- 1 快適な住環境と暮らしやすさ、首都圏・中京圏・北越地域との結節点に位置する長野県の地理的メリットを活かして、Society5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させること
- 2 産学官が連携しITビジネスの創出を促すエコシステムを構築し、長野県の産業の中核を担うものづくり産業等すべての産業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進や高度化を加速すること



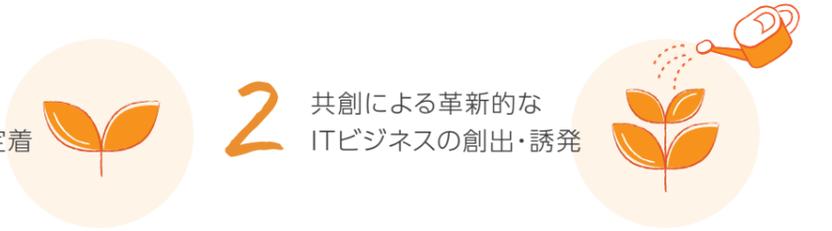
IT人材・IT産業を集積させ、産業のDXを推進



Our Approach

構想を実現するための産学官の力を結集した取組

- 1 若者をはじめ多様なIT人材の育成・誘致・定着
- 2 共創による革新的なITビジネスの創出・誘発



本構想の求めるIT人材像

- 長野県に暮らしつつグローバルに活躍するIT人材
信州での豊かなライフスタイルを満喫しながら、世界をフィールドに活躍するIT人材
- 県内産業のニーズ(生産性向上等)に応える開発技術を持ったIT人材
SDGs [Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)]の推進や県内産業の生産性向上につながる、革新的なビジネスを創出するIT人材

Promotion & Networking

情報発信とプロモーション

- 1 産学官連携による効果的な発信
- 2 都市圏IT人材IT企業への発信
- 3 海外への効果的な発信



Council Structure

推進体制

産学官連携によるコレクティブ・インパクト(協働効果)を創出する推進体制として信州ITバレー推進協議会 Nagano Information Technology Council (略称:NIT)を設置

協議会の構成

産業界、産業支援機関、大学等教育機関、市町村、国、県 など



協議会の役割

- 構成員相互の協議の場づくり
- プロジェクト創成・進捗管理等
- 構成員協働によるアジャイル*型の事業展開の促進 など

* [アジャイル] 情報システムを小さな機能単位に分割し、設計、プログラミング、テストを繰り返しながら徐々に機能や改良を加えて、最終的に完全な情報システムを開発する手法